

第 1 回子ども・子育て会議の協議内容の振り返り

子ども・子育て支援事業計画『第 4 章』を今後どう進行管理していくか

事務局の提案

- (1) 1 事業ごとに全事業を進行管理する方法
- (2) 「施策の方向」ごとに全事業を進行管理する方法
- (3) 重点的に取り組む事業を中心に進行管理する方法

第 1 回子ども・子育て会議で出た意見

- (1) 評価方法について
 - ・次世代の総括評価を意識し、「施策の方向」ごとに評価を検討してはどうか。
 - ・各事業の実績が把握できていないとまとめていくことはできない。全ての事業を見ていくべき。
 - ・計画の進行が総合的にどうなっているかが一番大事
 - ・あまり細かな部分よりも、総合的に評価する方向を重視する方がいい。
- (2) 報告書について
 - ・次世代の報告書は細かくて読む気がしない。市民に読んでもらえるものを作るべき。
 - ・施策の方向を土台にして、報告内容を書くとわかりやすい。

第 1 回子ども・子育て会議まとめ

- (1) 評価方法について
各事業の実績を基に、施策の方向ごとで進行管理をする（資料 2 - 4 参照）。その中で、次世代計画の総括評価を踏まえ、重点的に取り組む事業を協議して決定する（資料 2 - 3 参照）。
- (2) 報告書について
細かい全事業の実績評価を記載したものではなく、施策の方向性を意識して報告書にまとめる。また、重点的に取り組む事業（施策の方向）のみ、報告書としてまとめる方法も検討する。

評価をするにあたっての検討課題

- 目標がないと「出来た」「出来なかった」が評価できないため、各事業に目標の設定が必要であるが、事業によっては目標を設定しづらいものがある（啓発や相談事業など）。
- すべての事業に目標を設定すると、施策の方向とは関係なく、事業自体の評価になりかねない。